



2025 年 12 月 9 日

各 位

会社名 株式会社カラダノート
代表者名 代表取締役 佐藤 竜也
(コード番号: 4014 東証グロース)
問合せ先 コーポレート本部長 高埜 伸一郎
(TEL 03-4431-3770)

「孤育て」の負担緩和と共育（トモイク）推進に向けて 新機能を『授乳ノート』に実装し、ファミリーデータの基盤強化

当社は、産後直後から利用されている赤ちゃんのお世話の記録アプリ「授乳ノート」において、少子化改善における課題の“孤育て”の緩和を目的とした2つのトモイク機能を新たにリリースしました。

本取り組みの目的：新機能を通じた “孤育て” 緩和とパパ層のデータ基盤強化

『授乳ノート』では2019年より、赤ちゃんの記録データを家族で共有できる「家族共有機能」を提供し、育児の分担・協働、いわゆる “トモイク” の推進に取り組んできました。今回、リリースした2つの新機能は、「孤育て」の解消と家族のトモイク推進を目的に開発したものであり、育児当事者同士が感謝や共感を通して支え合える仕組みを提供するものです。

特に、家族間で感謝のメッセージを送れる「ファミリーメッセージ」機能により、利用構成比として伸びしろのあるパパ層の利用促進が期待でき、世帯単位のデータ取得精度の向上や、ファミリーデータベースのさらなる拡充につながると考えています。

当社にとってファミリーデータは事業成長の中核であり、世帯単位でのデータ拡充は、ライフイベントマーケティング領域における提案価値の向上、さらには金融・保険・住宅など家族に関わる周辺領域との協業可能性を高め、長期的な企業価値向上に寄与いたします。

また、本機能は社会的にも注目いただいております。フジテレビ報道番組「イット！」にて、当社開発担当者および『授乳ノート』の機能が紹介されました。本件は、当社の理解促進とブランド価値向上に寄与すると考えています。



カラダノートが推進する「トモイク（共育）」とウェルビーイング社会の実現へ

カラダノートは「家族の健康を支え 笑顔をふやす」というビジョンのもと、少子化や共働きなど社会構造の変化に対し、テクノロジーとデータを通じて家族のウェルビーイング向上に取り組んでいます。

当社が推進する「共育（トモイク）」とは、家族・企業・地域が支え合いながら子育てを行う社会づくりを目指す取り組みです。代表の佐藤は、厚生労働省「トモイクプロジェクト」推進委員として、官民一体での子育て支援にも参画しております。

トモイク機能第3弾の本機能は、家庭内の感謝の循環を生み、さらに子育て中の当事者同士のつながりを築くことで、家庭を超えて社会全体で支え合う「共育＝トモイク」を体現します。

本機能の詳細については添付のニュースリリースをご参照ください。

（添付）

「孤育て」から「共育（トモイク）」へ。
育児アプリ「授乳ノート」、感謝と共感を届ける新機能をリリース
～ トモイク機能第3弾、「ファミリーメッセージ」と「授乳なかまの声」～

以上

「孤育て」から「共育（トモイク）」へ。
育児アプリ「授乳ノート」、感謝と共感を届ける新機能をリリース
～ トモイク機能第3弾、「ファミリーメッセージ」と「授乳なかまの声」～

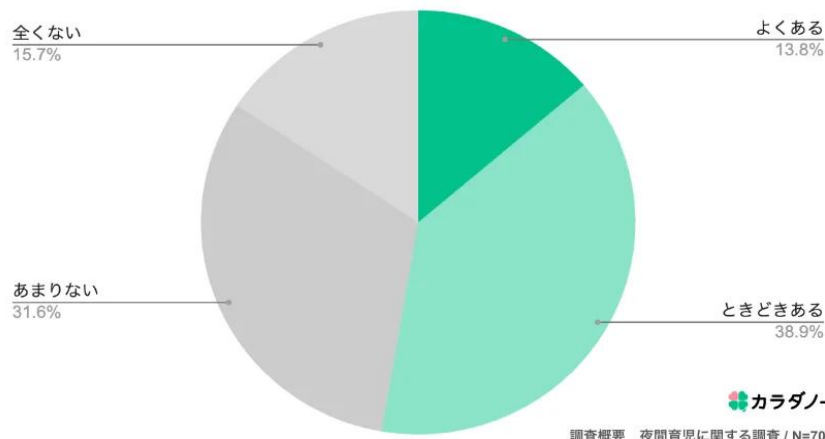
「家族の健康を支え 笑顔をつややす」をビジョンとし、家族と向き合う全ての人の伴走者として心身ともに健康な生活を支援する株式会社カラダノート（東京都港区 / 代表取締役：佐藤竜也 / 以下当社）は、当社が開発・運営する赤ちゃんのお世話記録アプリ「授乳ノート」において、家族の共育（以下 トモイク）を後押しする新機能「ファミリーメッセージ」を両 OS（iOS / Android）にてリリースしました。

本機能は、家族共有を利用する家族が、ワンタップで感謝の気持ちを送り合える仕組みです。同年 9 月に開始した「授乳なかまの声」とあわせて、孤育ての負担を緩和しトモイクを後押しします。



開発背景：幸せな子育ての陰にある“孤育て”という社会課題

育児に孤独を感じたことはありますか？



<本件に関する問い合わせ先>
株式会社カラダノート
IR 担当
ir@karadanote.jp

当社が 2024 年実施した調査※1 では、53%のママが「育児中に孤独を感じた」と回答しており、特に夜間授乳などの時間帯で孤独感が強まる傾向が見られました。また、2025 年の共育で実態調査※2 では、「パートナーから労いや感謝の言葉がある家庭ほど共育で実感が高い」という結果が得られ、「感謝と共感」がトモイクに欠かせない要素であることが明らかになりました。

さらに昨年、夜間のみ授乳人数を表示する機能をリリースした際は、「同じ時間に頑張る人がいるだけで救われる」といった声が SNS で寄せられました。当社はこの反響を踏まえ、孤育ての緩和には“数字のつながり”だけではなく、“感謝や共感を通じた緩やかなつながり”が重要と考え、今回の 2 つのトモイク機能を開発しました。

※1 夜間育児に関する調査：調査期間 2024 年 6 月 7 日～7 月 2 日、N 数：700

※2 共育で実態調査：調査期間 2025 年 9 月 18 日～9 月 26 日、N 数：1,046

感謝と共感を届ける 2 つのトモイク機能をリリース！

当社アプリ「授乳ノート」において、2 つの「トモイク機能」を実装しました。



①家族に感謝を届ける「ファミリーメッセージ」

本アプリの家族共有機能を利用する家族は、ワンタップで、家族に「ありがとう」のメッセージを送信できます。日常の中で自然と感謝を伝え合う機会を生み、育児の負担が一人に偏らない環境づくりを後押しします。



②育児の共感が届く「授乳なかまの声」

授乳またはミルクの記録時に、他のユーザーのつぶやきを閲覧・自身のつぶやきを投稿できる機能です。「いま、頑張っている仲間がいる」という実感から、アプリを通じた新たな支え合いをつくれます。

カラダノートが推進する「トモイク」とウェルビーイング社会の実現へ

カラダノートは「家族の健康を支え 笑顔をふやす」というビジョンのもと、ライフイベントを起点に家族のウェルビーイングを支える事業を展開しています。

当社が推進する「共育（トモイク）」とは、家族・企業・地域が支え合いながら子育てを行う社会を目指す取り組みです。代表取締役・佐藤は厚生労働省「トモイクプロジェクト」推進委員として、官民一体の子育て支援にも参画しています。

トモイク機能第3弾の本機能は、家庭内の感謝の循環を生み、さらに子育て中の当事者同士のつながりを築くことで、家庭を超えて社会全体で支え合う「トモイク」を体現します。

今後も当社は、家族のライフイベントデータを活用し、孤育ての緩和とトモイクの実現を目指してまいります。

生後からすぐ使える！赤ちゃんの成長・育児記録アプリ「授乳ノート」について



本アプリは、授乳時間やミルクの量、おむつ替え、睡眠時間など、赤ちゃんのお世話を簡単に記録できるアプリです。2012 年のリリース以来、多くの家族に利用されており、累計ダウンロード数は 180 万（2024 年 5 月時点）を超えています。

アプリ名称：授乳ノート

アプリ概要：授乳の時間帯・オムツ替えなど、片手で簡単記録！

- 特徴① 記録した情報をグラフ化
- 特徴② 身長と体重の記録ができるので成長の目安に便利
- 特徴③ 家族共有機能を使えば、記録した情報がリアルタイム共有
- 特徴④ リアルタイムで授乳人数がわかる
- 特徴⑤ 二人目以降の子どもの記録ができる

提供会社：株式会社カラダノート

配信形式：スマートフォン（iOS／Android 端末）向けアプリ

料金形態：無料

ダウンロード：<https://karadanote-junyu.onelink.me/hAsa/www7e716>

<本件に関する問い合わせ先>
株式会社カラダノート
IR 担当
ir@karadanote.jp

会社概要

カラダノートはユーザーの QOL 向上のための効率化を支援

当社は、家族向け、社会向けの大きく 2 つの領域で事業を行っております。家族向け領域では、記録や共有を中心とする子育て・ヘルスケアアプリを起点に、ライフイベントデータを活用し QOL（生活の質）を高めるサービスを提供しています。社会向け領域としては、ユーザーデータや当社知見をもとに少子化など社会課題の解決に寄与する事業開発・コンサルティングを大手企業向けに提供しております。

企業名 : 株式会社カラダノート（東証グロース：4014）

本社 : 東京都港区芝浦 3-8-10 MA 芝浦ビル 6 階

代表 : 佐藤竜也

事業内容 : 家族サポート事業

ライフイベントマーケティング事業

家族パートナーシップ事業

URL : <https://corp.karadanote.jp/>